第９２号　平成３１年１月２６日発行

いつも熊本日日新聞をご愛読いただきありがとうございます

この季節になると流行する「インフルエンザ」が、人吉球磨では大流行の【警報レベル】となっているようです。イヤな流行です…(×_×)
お出かけの際はマスクの着用と、手洗い・うがいで予防対策をしっかりとしましょう！

球磨んタイムズ

地域と読者の架け橋

編集・発行
熊日多良木販売センター
球磨郡多良木町大字多良木 356-1
TEL 42-3355　FAX 49-1726
http://www.taragi.com/
熊日湯前販売センター
球磨郡湯前町中里 1830　TEL 43-2151
㈹小出堅太郎　石田敏郎　那須信一
編集：岩水由香
球磨んタイムズは当社ホームページでもご覧頂けます。また facebook ではコーナーごとに掲載中。「熊日多良木販売センター」を検索して下さい。

ラジコン体験してみませんか

あさぎり町岡原北にラジコンのドリフト専用カーペットコース（県内には玉名と２ヶ所）があります。このコースは部発足５年目になる「球磨ラジ部」の専用コースで、球磨・人吉から集まった 11 名（20 代～ 50 代）が、週に 2、3 回自由に集まって自慢の愛車を走らせています。定期的に部内でドリフトのかっこ良さを競う大会を開催していますが、全国的にはチームで車がドリフトしていく流（1 台の車がドリフトしいく状態をコマ送り状に 4、5 台で再現）の美しさを競い合う大会が開催されています。会場ではドリフト専用の車を走らせていますが、燃料エンジンで動く車や飛行機、ドローン等ラジコン全般的にやっておられますので、興味のある方はお客さんとして参加してみませんか。

連絡先：富田
電話番号：090-6893-1145

カレンダー差し上げます！

２０１９年カレンダーをご希望の方に差し上げます。数に限りがございますので、お早めに当店までご連絡ください。

お店紹介

NEW OPEN

ふわふわランドリー湯前店

12 月 29 日にコインランドリーの「ふわふわランドリー湯前店」がオープンしました。洗濯機 2 台、乾燥機 6 台、洗濯乾燥機 2 台、そしてスニーカー用の洗濯機と乾燥機が備えてあり、大量の洗濯から乾燥のみに使用したい、布団など大物を洗濯したいなど、用途に応じてご利用頂けます。そして 24 時間営業なので、朝の空き時間や仕事終わりなど、いつでも洗濯・乾燥出来るのもありがたいですね。用意されているドライヤーシート（乾燥機用の柔軟剤）は静電気防止にもなるので、乾燥機を使用する際には利用したいサービスです。また冷暖房完備された店内はとても快適で、なおかつ無料のマッサージ機が設置されていますので、待ち時間も全然苦になりません。「この先季節柄、ＰＭ 2.5 や花粉対策にもなりますので、アレルギーをお持ちの方などは是非乾燥機をご利用をお勧めします」と店主さん。
是非ご利用ください！

住　　所：湯前町字上松下 742-1
問合せ先：0966-44-0025 まで
24 時間営業【年中無休】

「くましえん ひな市」のお知らせ

球磨支援学校中学部・高等部では、将来の働く力を培うことを主な目的とした作業学習に取り組んでいます。以下のとおり、作業学習の中で作成した作業製品を販売する「くましえんひな市」を、校内で開催します。

【販売製品を紹介します】
・中学部紙工班：カレンダー、メッセージカード、お祝い封筒など
・高等部農園芸班：花苗、寄席植え、苗土など
・高等部窯業班：皿、コップ、花瓶など
・高等部工芸班：雛人形、ミニポーチなど　※全てフェルト製
・高等部木工班：ベンチ、スピーカー、お盆など
全て手作りで、素敵な製品にできあがっています。

なお、会場には「カフェコーナー」や「ボッチャ体験コーナー」を設け、生徒達がおもてなしをします。多くの地域の方との触れ合いを大切にしていきたいと思っています。お誘い合わせの上、ぜひご来店ください。

期日　平成３１年2月9日（土）
場所　熊本県立球磨支援学校体育館
時間　9時３０分から１２時２０分まで

（原稿・写真提供：球磨支援学校）

次のページへどうぞ

球磨ん文化財巡り　NO.44

槻木の西郷橋（西郷降参橋）

西郷隆盛が西南の役で官軍に敗れ、延岡から故郷の城山へ敗走する道中、九州山地を通って西米良から下槻木の大師に到着したのが明治 10 年 8 月 27 日でした。ところが前日の台風の影響で川が氾濫し、橋が流され須木村（現・小林市）に行くことが出来ませんでした。そこで西郷は当時、槻木に多かった欅の大木を伐採して橋を造りました。この時西郷軍は 20 名程でしたが食料が無く、水をがぶ飲みして歩行していた為、力が出ませんでした。地元民が牛を殺して、寛大な接待をして厚く遇しをしたそうです。西郷は地元民の心情に感謝し、涙を流して御礼を言って這うようにして橋を渡ったそうです。その時の姿が降伏の格好に見え、西郷降参橋と呼ぶようになったそうです。渡り終ったら官軍の追撃をかわすため、橋をこわして行こうとの話がありましたが、遇しのお礼と、地元民の不便を思いそのままにして行ったそうです。降参橋は昭和初期まであったそうですが、その後吊り橋に架け替えられ、現在はこれより下流１キロ程に、新西郷橋としてコンクリート造の橋に建替えられ、小林市に通じる間道になっています。

西郷さんが通ったと思われる、現在の里道

昔、西郷橋は大師の綾北川（槻木川）のこの付近に架けてありました。

※文化財ではありませんが、地域に伝承されるものを紹介しました。
※西郷どんの放送によって、鹿児島はもちろん多数の放送局や、取材当日にも芦北町から夫婦で新西郷橋や西郷橋跡を訪ねてこられるなど、一般の西郷どんファンも訪れるようになったそうです。

暖談なぁぁ～

◆平成最後の正月、寒波と県北が中心の震度6でスタート。去年の漢字”災”がそのまま続く年明けといえそうです◆4月に発表される新元号、いろいろ憶測されていますが、なんと初夢に、多良木の”良”がスーッと浮かび上がりました。何事も良い方向に進むのを暗示しているとは言い過ぎでしょうか◆市房の市と組んで”良市”、平和な時代の継続を願って”良平”か”良和”では、皆さまの周囲にもきっといらっしゃる人名になってしまいそうですね◆時代がいい方向に変化するように、と”良化”。化けるという字のイメージがどうも、という声が出そうですけど”大化の改新”という先例もあります◆”良”が採用されればおもしろいかなという、いわば願望にすぎませんが、皆さまも頭の体操をお一ついかが…◆熊日と球磨んタイムズは今年も地域のニュースを大切に進んでまいります。どうぞ、よろしく。（X）

新聞記事を楽しむ！　NO.46

～二つの文章と陶磁器～

年末、昔ながらの餅つきも終えたので、つねづね家族から汚い、部屋が狭くなると不評を買っている陶磁器や漆器の収集品を整理することにした。始めるとつい共箱を開けてしまい、手に取って口作りや底の土質など眺めて、一定の技法に基づき焼かれている特徴を見つけ出したり、素材や作者の背景を連想したりして楽しんでしまった。その結果、捨てることのない移動だけに終わってしまった２日間だった。しかし印象深い二つの文章を実感した気がした。

その文章は、クリスマスの週に、「日本の陶磁」全１４巻や「骨董夜話」、「茶人」、「日本の住まい」など部屋の隅に積んでおいた本の中から取り出して読んだ。その一冊、「骨董夜話」の文中に、白洲正子さんが「それほどお金がないために、安い所で我慢しているが、掘出し物にはまったく興味がない。そんなものを狙うより、好きなものを買うことだ。買って、つきあってみることだ。それがおのずから掘出しになれば、こんな仕合せなことはない。ほんとうの『掘出し物』とは、物に即して、自分の眼を、心を、掘り出すことではないのか、この頃私はそう信じるようになった」と書かれていた。また、１２月１６日の【熊日論壇】に熊本大学、苫野一徳准教授が、「さまざまな問題に対する鍛え抜かれた答え、哲学の英知を、もう一度、一般の人たちの手に取り戻したい。哲学とは何か。私は『本質洞察に基づく原理の提示』と言っている。さまざまな問題を解き明かすための『原理』(深い考え方)を出す。例えば、そもそも教育とは何かという『本質』が洞察できれば、ではそのような教育をどう構想していくべきかの『道理』もまた解明することができる」と述べられていた文章だった。掘り出す目、本質を理解する気持ちを促す収集癖も捨てたものではないと勝手に解釈した。家族には、五木寛之さんが、「自分の好きな物に囲まれ雑然とした雰囲気も素敵なものだ」と言っていたと説明してみた。

（原稿提供：多良木高等学校 川北禎一先生）

むつみ保育園　園児紹介

ばら組２２名

毎日縄跳びやドッヂボールをして寒さに負けず、元気一杯遊んでいます！これから節分に向けて、巨大鬼の製作を頑張ります。

多良木警察署だより

横断歩道止まっていますか？

「**信号機のない横断歩道**」の車の一時停止率は、

全国平均8.6%
熊本県　8.8%

となっており、まだまだ低い状況です。

横断歩道は歩行者優先です！

横断歩行者があるときは、一時停止、歩行者の通行を妨げないようにしましょう！

～てまえ運動～

1 歩行者は、「**手を前**」に出してドライバーに合図
2 車は、横断歩道の「**手前**」で停止
3 ドライバーは、「**手を前**」に出して歩行者に合図

（原稿提供：多良木警察署）